



医薬分業と地域連携

薬剤科 薬剤情報管理主任 菅沼 豪



皆さんは薬剤師というものにどのようなイメージをお持ちでしょうか。「薬を売っている人」とか「調剤する人」、「薬の説明をしてくれる人」でしょうか。いずれも正解といえますが、今のような薬剤師は江戸時代にはいませんでした。

明治維新以降に西洋医学が主流になると、欧州で一般的な「医薬分業」制度の必要性が言われ始め、明治7年に「薬舗主」（のちの薬剤師）に調剤権が与えられました。その後、昭和31年にいわゆる「医薬分業法」が確立し、同時に現在の薬剤師制度が誕生しました。

この薬剤師と同時に誕生した「医薬分業」ですが、その目的は「安心して安全な薬物治療の提供」です。そして薬剤師はこの「医薬分業」によって、病院と薬局で棲み分けが進むこととなります。

私たち病院勤務の薬剤師は入院している患者さんの「安心して安全な薬物治療」に貢献することになり、当院でも、ささやかながらではありますが病棟へ出向いての服薬指導を行っています。特に当院は入院患者さんの約半数が80歳代、90歳代が約25%を占めます。このため患者さん本人が薬の効果や副作用などを訴えることができないことも多く、医師や他のスタッフとの協働による薬の適正使用へのアプローチは今後さらに深めていく必要があると考えています。

一方、薬局の薬剤師は調剤や医薬品販売だけではなく、食事やサプリメントから介護用品までいろいろな情報の発信元として、ある時は患者さんの家にまで行って「安心して安全な薬物治療」の実現に努力しています。当法人は敷地内に多くの施設を抱えていますが、これらの施設も大半は近隣薬局による薬歴管理をお願いしています。

ここで問題となるのが入退院時にいかに切れ目のない医療の提供ができるかということです。薬剤科では日頃から近隣薬局との連携を図る一方で、必要に応じて入院時の持参薬チェックを行っています。また退院時には入院中の薬物治療等の情報を近隣薬局へフィードバックする試みも始めています。

更に当院は「東京都認知症疾患医療センター」の指定を受けておりますので、今後は地域の薬局に高齢者に関する多くの情報を知ってもらえるよう、幅広い情報の発信ができればと考えています。

外来担当医表 (平成26年6月)

診療科		月	火	水	木	金	土
初診外来 (内科)	午前	初めて内科を受診される方は初診外来にお越し下さい。 受付時間 午前8:30~11:00(月~金)					
内科	午前	秋山★ 小出 海野★	山岡 伊藤★	八田★ 雨宮★ 鈴木 鈴木	※吉田院長★ 市岡★ 八田★	伊藤★ 石川	担当医
	午後	青木					
★…神経内科		※雨宮 (認知症相談) ※市岡 (もの忘れ外来)	※西村 (もの忘れ外来)			※袖山 (認知症相談)	
神経内科	午後	※吉田院長	袖山				
循環器内科	午後		柴田		小出		
呼吸器内科	午前					中川	
代謝内科(糖尿病)	午後				佐々木		
精神科	午前	※梶浦 (認知症相談)	※古田 (認知症相談)	須貝	古田	須貝 (再診)	
	午後	※古田 (認知症相談)	※梶浦	※須貝		※須貝 (認知症相談) (もの忘れ外来)	
整形外科	午前	宮沢		宮沢		宮沢	
眼科	午前	酒井	酒井	酒井	酒井	酒井	
	午後	※酒井 (予約検査)	※酒井 (予約検査) (第2・第4のみ)	手術日		※酒井 (予約検査)	
歯科	午前	中野	中野		中野	中野	中野 (第1.3のみ)
	午後	中野	中野		中野	中野	

※印のついている診察には予約が必要です。



10月より全面的に院外処方へ！！

10月の新病院開設時から全面的に院外処方となります。随時、院外処方への切替えを始めております。ご協力のほど、どうぞよろしくお願い致します。

交通のご案内

- 【電車】京王井の頭線
 ・富士見ヶ丘駅より徒歩7分
 ・高井戸駅より徒歩9分

- 【バス】荻窪駅南口より関東バス
 ・芦花公園駅入口行き(荻57)
 ・北野行き(荻54)
 「浴風会前」下車徒歩7分



カルガモの赤ちゃんが孵りました



病院中庭にて

発行元: 浴風会病院 地域連携・医療相談室

〒168-8535 東京都杉並区高井戸西1-12-1

Tel 03-3332-6511 Fax 03-3332-7671

URL <http://www.yokufu-hp.jp/>